



2023年

プレゼミナールのご案内

2023年9月23日(土)

8月21日(月) エントリー開始

プログラム

9:20~9:50 開会式・全体説明 (8:30~受付開始)

文系：新しい学問との出会い

10:15~14:30 (昼休み11:45~13:00)

セミナー1 (人文地理学・オセアニア地域研究)

サモアってどんな国!?

—現代における海外地域研究の意義と役割

定員30名

セミナー2 (中国古典文学)

「李娃伝」を読む

定員30名

セミナー3 (児童学・保育学)

子どもの学びを考える

定員30名

セミナー4 (臨床心理学)

カウンセリングと「見る」と「聴く」

定員30名

セミナー5 (文化情報工学・テキストアナリティクス)

データサイエンスによる文学作品の計量分析

定員30名

理系

10:15~14:30 (昼休み11:45~13:00)

セミナーA (位相幾何学)

結び目理論入門

定員20名

セミナーB (素粒子物理学)

光と宇宙 —空間と時間を超えて

定員20名

セミナーC (発生生物学・細胞生物学)

生物学と顕微鏡

定員20名

セミナーD (統計物理学・量子コンピューティング)

最適化に挑戦!

定員20名

セミナーE (建築学)

共創工学への誘い

定員20名

※セミナーによって授業時間配分が多少異なる場合があります。

※総合型選抜(新フンボルト入試)文系学科受験者は、各セミナー終了後、レポートを作成します(14:45~15:45)。

※理系学科志望の総合型選抜(新フンボルト入試)受験者はプレゼミナールの受講は必須ではありません。理系学科の第1次選考は書面審査にて行われます。

※プログラムの内容が変更になる可能性がありますので、最新の情報はHP(<https://www.ocha.ac.jp/event/d000000.html>)をご確認ください。

理学部生物学科 大学院生による研究ポスター発表／自主研究課題相談会 (14:45~16:45)

※新フンボルト入試受験者は「大学院生による研究ポスター発表」のみ参加できます(自主研究課題相談会は参加不可)。

理学部化学科 研究室見学ツアー (14:45~17:00)

化学科エリアの教室ならびに実験室、研究室の様子を見学できます。

附属図書館見学 (①14:45~15:45、②16:00~17:00)

附属図書館を見学できます。この企画への参加は任意です。

セミナー1 サモアってどんな国!?—現代における海外地域研究の意義と役割 (倉光 ミナ子：人文地理学・オセアニア地域研究)

定員30名

皆さんはこれまで海外の地域や国々について何をどのように学んできたのでしょうか。現在、グローバル化が進み、海外のいろいろなところを旅することが可能になっています。また、ICTの普及により、自宅にいながら簡単に海外の情報にアクセスできるようになりました。このような時代において、海外地域について知ること、学ぶこと、そして研究することにどのような役割と意義があるのでしょうか。南太平洋のサモアについての講義を通して、皆さんと一緒に考えてみたいと思います。

セミナー2 「李娃伝」を読む (富 嘉吟：中国古典文学)

定員30名

白居易の弟である白行簡が著した「李娃伝」は、中国の古典小説の白眉として長く愛読されてきました。本物語は公務員試験の受験生である主人公が、長安という世界一の大都市の花街で出会った遊女の李娃に一目惚れした、その結果、巨大な罠に巻き込まれるという展開です。物語の舞台は、美しい遊郭から賑やかな市場まで広がり、登場する人物は、貴公子から底辺の貧民まで多岐にわたります。本セミナーでは「李娃伝」を通じて、絢爛たる唐の都長安の実像に迫り、そこに住んでいる人々の喜怒哀楽を理解していきます。

セミナー3 子どもの学びを考える (刑部 育子：児童学・保育学)

定員30名

少子化が進んでいる日本では、今、幼児教育・保育に大きな関心が向けられています。日本の幼児教育・保育学の父とも言われ、本学の教授でもあった倉橋惣三の著作物の中には「生活」という言葉が多く出てきます。本授業では子どもが生活や遊びの中でどのようなことを学んでいるのかについて考えます。お茶大の児童・保育学の研究者がバトンをつないできた日本で最も長い歴史をもつ保育の雑誌『幼児の教育』についても紹介します。

セミナー4 カウンセリングと「見る」と「聴く」 (山田 美穂：臨床心理学)

定員30名

心理カウンセリングでは、クライアント（相談に来られた方）のお話を、ゆっくり丁寧に聴いていきます。子どもの場合は、プレイセラピー（遊戯療法）を通して、「遊び」という表現を「ことば」として理解しようとしています。日常生活での「悩み相談」と似ているように見えますが、実はまったく違う、様々な技術を必要とする専門的行為です。具体的な「見る」「聴く」方法を、実際に体験しながら学びましょう。

セミナー5 データサイエンスによる文学作品の計量分析 (土山 玄：文化情報工学・テキストアナリティクス)

定員30名

小説を読んだとき、描かれるストーリーによらず、その書き手らしさを感じることがあります。これは文体にその書き手の習慣的、形式的な特徴があらわれるからです。この文体の特徴をデータサイエンスの手法を用いて分析することで、文章の書き手の識別や同定が可能です。このセミナーでは文学作品のテキストデータを対象としてデータサイエンスの手法を用いた著者推定の方法を、デモンストレーションを交えて紹介したいと思います。



附属図書館見学 ①14：45～15：45 ②16：00～17：00

希望者のみ

附属図書館を自由に見学できます。①は新フンボルト入試文系受験者以外（文理問わず）どなたでも参加できます。②は新フンボルト入試文系受験者のみ参加可能です。人数把握のため、事前の申し込みが必要です。

セミナーA 結び目理論入門 (下川 航也: 位相幾何学)**定員20名**

ひもの結び方はどれくらいあるのでしょうか? 数学の一分野のトポロジー (位相幾何学) では、ひもの結び方を研究する理論があり、結び目理論と呼ばれています。結び目理論は百年に亘り研究が行われ、多くの応用が知られています。このセミナーでは、結び目を使ってトポロジーの考え方を紹介します。そして、結び目が解けること、解けないことの証明を、図の変形や計算で調べる方法を考えていきます。

セミナーB 光と宇宙 –空間と時間を超えて (曹 基哲: 素粒子物理学)**定員20名**

夜空に煌めく星々を見上げながら、「宇宙の果てはどうなっているのだろう」という素朴な疑問を抱く人は多いと思います。我々は光を通して身の回りの様子を知ることができますが、宇宙の果ても光で明るく照らされているのでしょうか。宇宙の果てには何があり、それらはどんな物理法則に従うのでしょうか。このセミナーでは光を主役として空間と時間を自由に乗り越え、宇宙の果てと誕生したばかりの宇宙へと皆さんを誘います。

セミナーC 生物学と顕微鏡 (千葉 和義: 発生生物学・細胞生物学)**定員20名**

生物学では生き物を観察するときに、しばしば顕微鏡を用います。このセミナーでは、顕微鏡の原理を学びながら、皆さん自身による顕微鏡の自作実験を行います。さらに、偏光顕微鏡、位相差顕微鏡、微分干渉顕微鏡、そして蛍光顕微鏡や共焦点レーザー顕微鏡も用いて、いろいろな生物試料を観察し、何が見えてくるのかを体験するとともに、その背後に隠された原理について考察し、皆で議論します。

セミナーD 最適化に挑戦! (工藤 和恵: 統計物理学・量子コンピューティング)**定員20名**

最近、量子コンピュータが話題になっています。量子コンピュータにはいくつかのタイプがありますが、その中でも組合せ最適化問題を高速に解けるアニーリング型に焦点をしばって解説します。実習では、そのしくみを利用して、最適化問題に挑戦します。今回は普通のコンピュータを使いますが、アニーリング型のコンピュータで問題が解けるしくみを実感してもらえはらずです。みなさんも、新しい時代のコンピューティングを体験してみませんか?

セミナーE 共創工学への誘い (長澤 夏子: 建築学)**定員20名**

工学は、新しいものやサービスを創るため、科学の普遍性・客観性・論理性を武器に、技術を発展させてきました。これからの私たちの新しい社会や生活には、情報化社会・環境への対応・新しい文化の醸成など、多様な人と共に創ることが必要です。そのためには技術の知識だけでなく、情報科学、芸術や人文科学の知識を融合し、新しい共創工学を考えます。その中心的な考え方は、共に創る設計 (デザイン) 手法で、今回は、身近な生活工学を題材として、共創工学のデザインプロセスをご紹介したいと思います。

**理学部化学科 研究室見学ツアー (14:45~17:00)****希望者のみ**

化学科エリアの教室ならびに実験室、研究室の様子を見学できます。また、化学科受験を検討するにあたって質問がありましたら、その場で相談も可能です。

理学部生物学科 大学院生による研究ポスター発表/自主研究課題相談会 (14:45~16:45)**希望者のみ**

研究ポスター発表では、生物学科の大学院生が最新の研究成果をポスターで発表します。研究のまとめ方の参考になると思います。また、研究の進め方などについて大学院生と自由に話すことができます。相談会では、自主研究の課題の選定や研究の進め方などについて大学教員が相談にのります。生物学科の受験を考えている人のみを対象とします。応募時に相談内容の概要をお知らせください。

プレゼминаールのエントリー方法について

お茶の水女子大学プレゼминаールは、幅広い学問分野から多彩なプログラムを用意しています。また、お茶大の特徴である少人数教育の醍醐味を体感してもらうため、事前エントリー制を取ります。なお応募者多数の場合は、新フンボルト入試受験者が優先となりますことをあらかじめご了解ください。エントリー期間は、**8月21日（月）から9月12日（火）17時まで**です（必着）。本学ホームページから専用の申込フォームによりお申し込みください。

セミナー内容をよく読んだ上で、受講を希望するセミナーを第1～第3希望まで選んで申し込んでください。なお応募者多数の場合には抽選になり、第2、第3希望のセミナーを受講する可能性があることをあらかじめご承知おきください。

※文系学科志望の新フンボルト入試受験者は、プレゼминаールへのエントリーと新フンボルト入試出願書類の提出（**出願期間9月11日（月）・9月12日（火）**）の両方を期限内に必ず行ってください。プレゼминаールには、なるべく出願に先行してエントリーしてください。（エントリー完了時に通知される申込者番号を控えておき、新フンボルト入試出願時に申込者番号と希望セミナーを入力してください。）

※文系学科志望の新フンボルト入試受験者は必ずいずれかのセミナーを受講できますが、非受験者は抽選の結果いずれのセミナーも受講できない可能性もあります。あらかじめご了承ください。

※非受験者は「理学部生物学科 大学院生による研究ポスター発表／自主研究課題相談会」「理学部化学科 研究室見学ツアー」のみの参加も可能です。

<申込フォーム>

下記のURL（またはQRコード）の「2023プレゼминаール・申込フォーム」から必要事項を入力し、申込みをお願いします。なお、この申込フォームで申し込みない場合には、下記アドミッション・オフィスまでお問い合わせください。

<https://www.ocans.jp/ocha?fid=bxEk1Kg5>

※エントリーを受け付けたのち、アドミッション・オフィスから確認のメールを送ります。9月中旬までにセミナー受講決定についてメールでお知らせします。なお、ocha@ocans.jp および admissions@cc.ocha.ac.jp よりメールをお送りしますので、必ず、@ocans.jp および @cc.ocha.ac.jp からのメールを受信できるよう設定しておいてください。その後のご連絡も、主にメールで行います（新フンボルト入試受験者への入試に関する連絡は郵送にて行います）。



<注意>

※エントリー後、何らかの事情で受講できなくなった場合には、速やかに下記アドミッション・オフィスまでご連絡ください。

※プレゼминаールへのエントリーのためにご記入いただいた個人情報は、本学の入学志願者・受験者に関する情報と同様、適切に処理いたします。同個人情報は本学が管理し、プレゼминаールの運営および付随する業務を行うために必要な範囲内で利用します。（学生募集要項の関連する記載も参照。）お茶の水女子大学における個人情報の取扱いについては下記のとおりです。

<https://www.ocha.ac.jp/about/individual.html>

申込み期間	2023年8月21日（月）～9月12日（火）17時
参加資格	本学での学びを志望する女子 （高校2・3年、性自認が女性であるトランスジェンダーの生徒を含む）



問い合わせ先

お茶の水女子大学 アドミッション・オフィス

MAIL admissions@cc.ocha.ac.jp

TEL 03-5978-2700 FAX 03-5978-2566

※アドミッション・オフィスのスタッフが不在の場合もあるため可能な限りメールでのお問い合わせをお願いいたします。